

## 津島市都市計画審議会 議事録（要旨）

1 日 時	令和7年12月12日（金）午後2時00分から3時30分まで
2 場 所	津島市役所4階 大会議室（WEB会議併用方式）
3 出席者	別紙名簿のとおり
4 内 容	
議題（1）付議	名古屋都市計画地区計画の決定について
議題（2）付議	名古屋都市計画用途地域の変更について
議題（3）諮問	名古屋都市計画道路の変更について（愛知県決定）
議題（4）報告事項	津島市都市計画マスタープランの中間評価について
議題（5）報告事項	藤浪駅南部のまちづくりについて
-----	-----
議題（1）付議	名古屋都市計画地区計画の決定について
議題（2）付議	名古屋都市計画用途地域の変更について

### 議長

北側の県道に接する道路3号から7号について地区計画の入口部分について、幅員は4メートルあるか。

### 事務局

道路4号は概ね3メートルの幅員となっています。道路4号以外の道路3号、5号、6号、7号は、概ね4メートルの幅員は確保されています。

### 議長

道路4号は、入口部分以外の箇所は4メートル確保されているか。

### 事務局

入口部分以外の箇所も4メートル確保されておらず、道路4号全体で4メートル確保されておりません。

### 議長

東西の道路はどうか。緊急車両は通行できるか。

### 事務局

道路2号の東側が特に狭くなっています。それ違い困難ですが、緊急車両の通行は可能です。

### 議長

他にご指摘があればお願いしたい。

他にご意見がないため、採決を取りたいと思う。

議題（1）付議名古屋都市計画地区計画の決定について及び議題（2）付議名古屋都市計画用途地域の変更についてにご賛同いただける方は挙手をお願いしたい。

（全員挙手）

全員から挙手をいただいたので本議題については賛同ということで決する。

本案について、市長に答申をするため、その答申案を事務局に配布・画面共有をお願いしたい。

（事務局により答申案提示（読み上げ））

原文についてご意見、ご質問等があればお願ひしたい。

特にご意見がないため、これらの答申案について、この内容で答申者より後日、津島市長に提出させていただく。

---

### 議題（3）諮問

### 名古屋都市計画道路の変更について（愛知県決定）

#### 議長

変更前は自転車通行帯がなかったが、新たに自転車通行帯が計画されている。

自転車ネットワーク計画を津島市や愛西市は策定しているか。

#### 事務局

津島市は策定しておりません。愛西市は把握しておりません。

#### 議長

愛知県は自転車通行帯を計画した理由はなぜか。愛知県自転車活用推進計画によるものか。

#### 事務局

回答できないため、確認しておきます。

【追記】自転車通行帯は、道路構造令及び愛知県道路構造の手引きに準拠したもの

#### 議長

津島市の区域で計画線が住宅にかかる件数はどの程度あるか。

#### 事務局

2軒と想定しています。

#### 議長

他にご指摘があればお願ひしたい。

他にご意見がないため、意見なしとして、議題を終了する。

---

### 議題（4）報告事項

### 津島市都市計画マスタープランの中間評価について

#### 委員

質問ではないが、工業・物流拠点の修正において、当初、想定していた企業から問合せがなかつたため、企業のニーズに合わせて、計画を柔軟に変更することはいい姿勢であると考える。

#### 議長

議題（3）で取り扱った都市計画道路の完成予定はいつか。

#### 事務局

10年を目指していると聞いていますが、現実的にはそれ以上の年数がかかると考えます。

#### 議長

この都市計画道路の完成は、マスタープランに位置付けられているか。

### 事務局

木曽川・長良川の新架橋に合わせて、西の玄関として位置付け、企業誘致区域を計画しています。当該区域には埋蔵文化財があり、今年度、この企業誘致区域で埋蔵文化財の調査を行っています。調査の結果で、企業誘致区域として位置付けの可否を判断します。

### 議長

中間評価で進捗無し・減少となっている項目について見直しは行うのか。

### 事務局

進捗無し・減少している項目については、社会情勢により一時的に下がってしまっているだけであると考えているため、見直し予定はありません。目標値の上方修正が必要な項目はあると考えていますが、概ね今の目標値を継続するような方向で考えています。

### 議長

人口の社会増減が増というのは大変喜ばしいが、その内訳はいかがか。

### 事務局

内訳は、外国人の転入の増加の影響を大きく受けています。日本人に限れば、減少しており、それに対して外国人が大きく増加をしています。外国人の内訳を見ると、就労資格がある方が比較的伸びているため、企業誘致の効果が表れていると考えられます。

### 議長

外国人の居住箇所の状況はどうか。外国人の方向けの住居が提供されているのか。

### 事務局

外国人の居住箇所は把握しておりません。外国人の方向けの住居や寮を提供している企業もあります。

### 議長

日本人で減少している年齢層はどこか。

### 事務局

社会増減に限ると20代が大きく減っております。担当部署に確認したところ、過去には30代の転出が非常に多くありましたが、現在はその状況がなくなってきたいるときいております。20代に関しては就職により、一定数転出することはやむを得ない部分はありますが、30代の転出が減少してきているのは、住宅政策、子育て施策が功を奏していると考えられます。また、子供の世代の転入転出では、転入は、令和5年と6年で比較するとあまり変わっておりませんが、転出が非常に減っています。子育てや出産を機会に引っ越す方が、多少抑えられていると考えられます。

### 委員

評価指標の値の算出根拠を母数に参照できるようにするべきである。分母がどのように設定されて算出されているのかわかったほうがよい。

### 事務局

全ての数値が毎年収集できるものではないため、参照できるものは継続的に参照していきます。また、単純に評価指標の増減だけではなく、その他の評価指標との関連についても整理していきます。

### 委員

災害に対する家庭内の備えが出来ていると答えた市民の割合の評価指標について、備えを具体的に書き出して、できている、できていないを明確に評価できるような内容とし、自己評価ではなく客観的に評価できる内容とした方がよいと考える。

### 事務局

1種類の評価指標でまちづくりを判断することは非常に難しい部分がありましたので、可能な限り、参考となる評価指標を挙げて、現在、整理をしている状況でございます。

家庭の備えができているっていうのが低い代わりに、災害に強いまちづくりを満足しているのを増えていることは、個人のアンケート結果の揺らぎの部分を、ある程度カバーできると考えます。

揺らぎをなくすための内容については、危機管理課と相談し、参考となるものがありましたら、中間評価の中の参考値として、まとめていきたいと考えております。

### 委員

外国人の居住について、特定の国からの外国人が特定の場所に固まることは、都市づくりにおいて良くないとされている。既存の日本人コミュニティの中に少しづつ溶け込んでいけることが望ましい。外国人の数の増減だけでなく、居住区域についても調査していくとよいと考える。

### 事務局

外国人の居住場所については把握していないため、担当部署と調整する。

### 委員

目標4の小学校区ごとの防災指針となる地区防災計画の策定について、1校区だけ策定できた理由はあるのか。

### 事務局

地区防災計画は地域主体で策定しないと意味が無い計画ですので、市としては、計画を策定できるよう支援は行っており、今回、1つの校区のみ策定にいたったと聞いております。

### 委員

ベトナムの方々は夜勤で働いている方が多いと感じるが、就労時間について把握しているか。

### 事務局

詳細に調査しようとすると難しい点はありますが、先の質問にありました、外国人の

方の居住区域について調査していくことで、就労時間等についても傾向が掴めたらと考えます。

### 委員

目標4において、水災害時に避難場所となる施設の500メートル圏域のカバー率と津波災害時に一時避難所となる防災公園の整備個所数とともに水害に関する評価指標だが、敢えて分けているのか。

### 事務局

それぞれの評価指標において、想定している災害の種類が異なります。

津島市の水害は、津波と河川の氾濫が考えられます。津波災害時に一時避難所となる防災公園の整備個所数に関しては、地震発生後、迅速に避難を行う必要性があるという観点から、公園の整備を行う指標であります。

一方で河川の氾濫や台風等の降雨による水害は、1週間程度前から予測が可能であり、津島市では、広域避難が基本となりますので、ソフト対策を中心となり、最低限の避難場所は確保しようという視点でまとめています。

---

## 議題（5）報告事項 藤浪駅南部のまちづくりについて

### 委員

地権者へのアンケートだけでなく、市内で住宅購入を検討している若い世帯、市外在住だが住宅購入時に津島市も検討している世帯といった、今後このエリアに住んでもらう方にもアンケート、インタビューを行うことで、藤浪駅をどうすれば盛り上がっていくのかが見えてくると考える。

### 事務局

市街化区域への編入、区画整理事業を行うことを考えると、先に地権者の意向を確認する必要があると考えます。

アンケートを行った後は、愛西市とともに、愛西市の方も含めた勉強会を実施して多くの方に参加して頂けるよう努めます。

### 委員

名鉄とは話を進めているのか。

### 事務局

藤浪駅自体は、愛西市にあり、既に愛西市が駅前広場とかロータリーを整備しているため、津島市側で名古屋鉄道と調整する内容はありません。

ただ、名鉄グループの不動産部門である、名鉄都市開発に対してはディベロッパー目線で愛西市とともに意見を聞くことは考えられます。

### 議長

愛西市の進捗状況はいかがか。

### 事務局

愛西市の進捗状況は、事業検討箇所を市内8駅から4駅に絞った段階と聞いております。この4駅の中で優先順位を検討しており、各地域の意向を調査している段階です。愛西市の方針としては、地域の意向が強い駅を、優先的に行うと聞いています。

**委員**

近隣市町村の影響を凄く受ける内容と思うが、近隣市町村とまちづくりに関する情報を交換する機会はあるのか。

**事務局**

年に1回、愛知県が主催し海部管内の市町村が都市計画に関する情報交換を行う会議があります。その他、愛知県の都市計画課において、まちづくりの相談窓口が作られています。市単独で相談することもできますが、近隣市町村とともに相談もすることができます。

---

**議題（6）その他**

意見無し

以上で終了、散会

**議事録署名者**

---

**議事録署名者**

---

令和7年12月12日（金）津島市都市計画審議会出席者名簿

委 員	氏 名
名城大学教授	松本幸正
名城大学教授	宮本由紀
東京大学講師	中居楓子
津島市農業委員会会长	伊藤二三男
司法書士	染川明美
津島市議會議長	浅井英昭
津島市議会総務建設委員会委員長	清水基史
愛知県海部建設事務所企画調整監	野田峰憲
市民代表	杉山尚美

事務局	氏 名
津島市まちづくり推進部部長	市川竜雄
津島市まちづくり推進部参事	板津成己
津島市まちづくり推進部都市計画課課長	伊藤清隆
津島市まちづくり推進部まちづくり事業課課長	原田健
津島市まちづくり推進部まちづくり事業課統括主任	志知昌人
津島市まちづくり推進部都市計画課統括主任	山田繁樹
津島市まちづくり推進部都市計画課主査	大野将史

以上16名